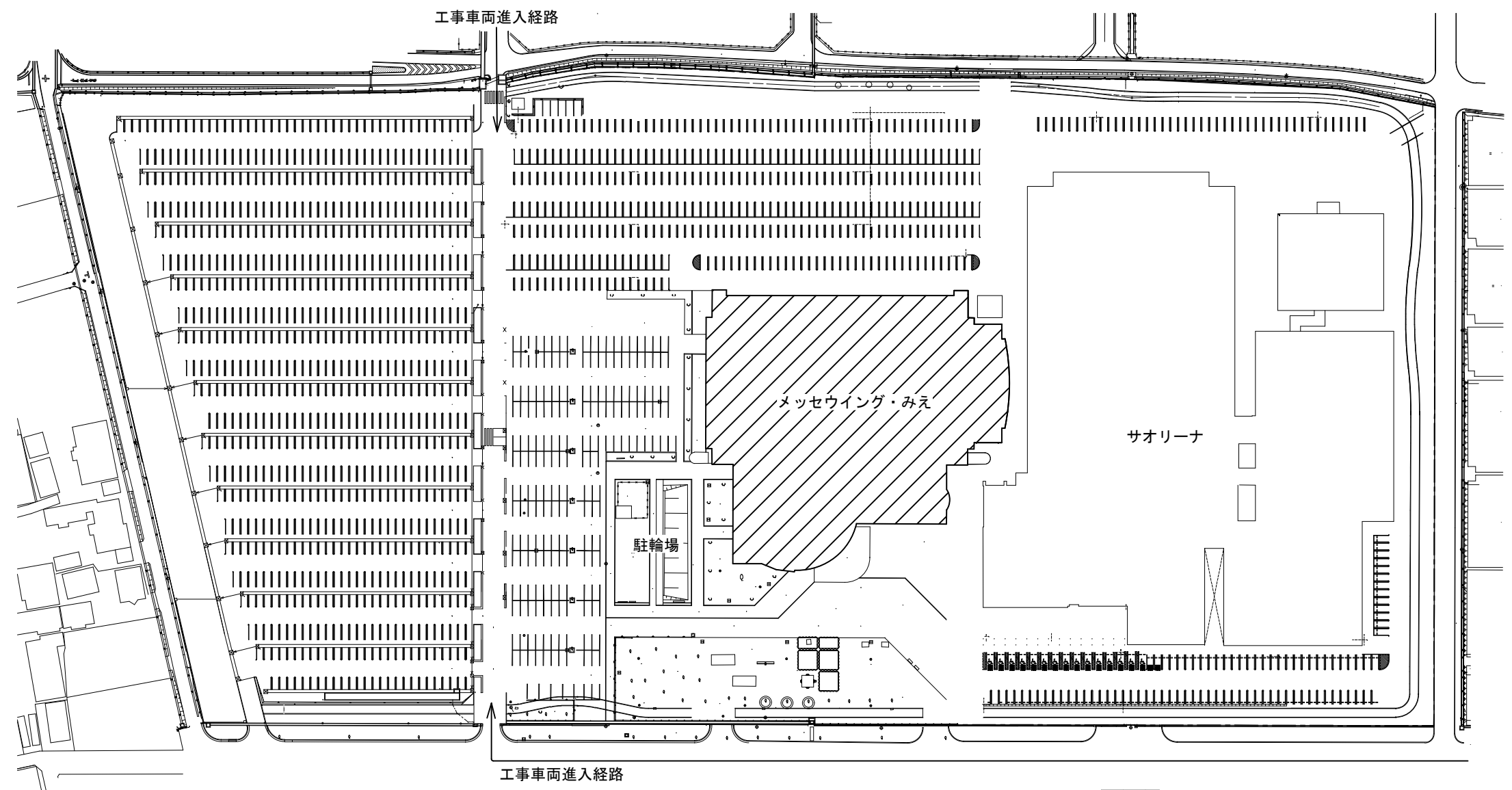
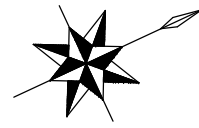


位置図



: 工事対象施設を示す

配置図 S=1/500

特記事項

【工事概要】

- ・排水設備の更新を行う。

【施工条件】

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中、改修範囲は施設運営しているため、安全対策には十分配慮すること。
- ・騒音、粉塵、断水、停電を伴う作業を行う際は施設管理者と打合せをしたうえで施工を行うこと。
また、粉塵が施設内に広がることのないように仮設間仕切により区画整理を行うこと。
- ・作業用の電力・用水は既存の施設を無償で利用出来る。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合せをすること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
- ・作業着手前には、現状把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・施工時間については施設管理者と協議のうえ決定とする。
- ・工事作業区画はコーンバー等で区画整理を行うこと。
- ・ピット内作業を行う際は酸素欠乏危険作業主任技術者を選任し、安全管理に十分配慮すること。
- ・がれき類搬出の際は誘導員を配置し、安全管理に十分配慮すること。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

【解体撤去処分】

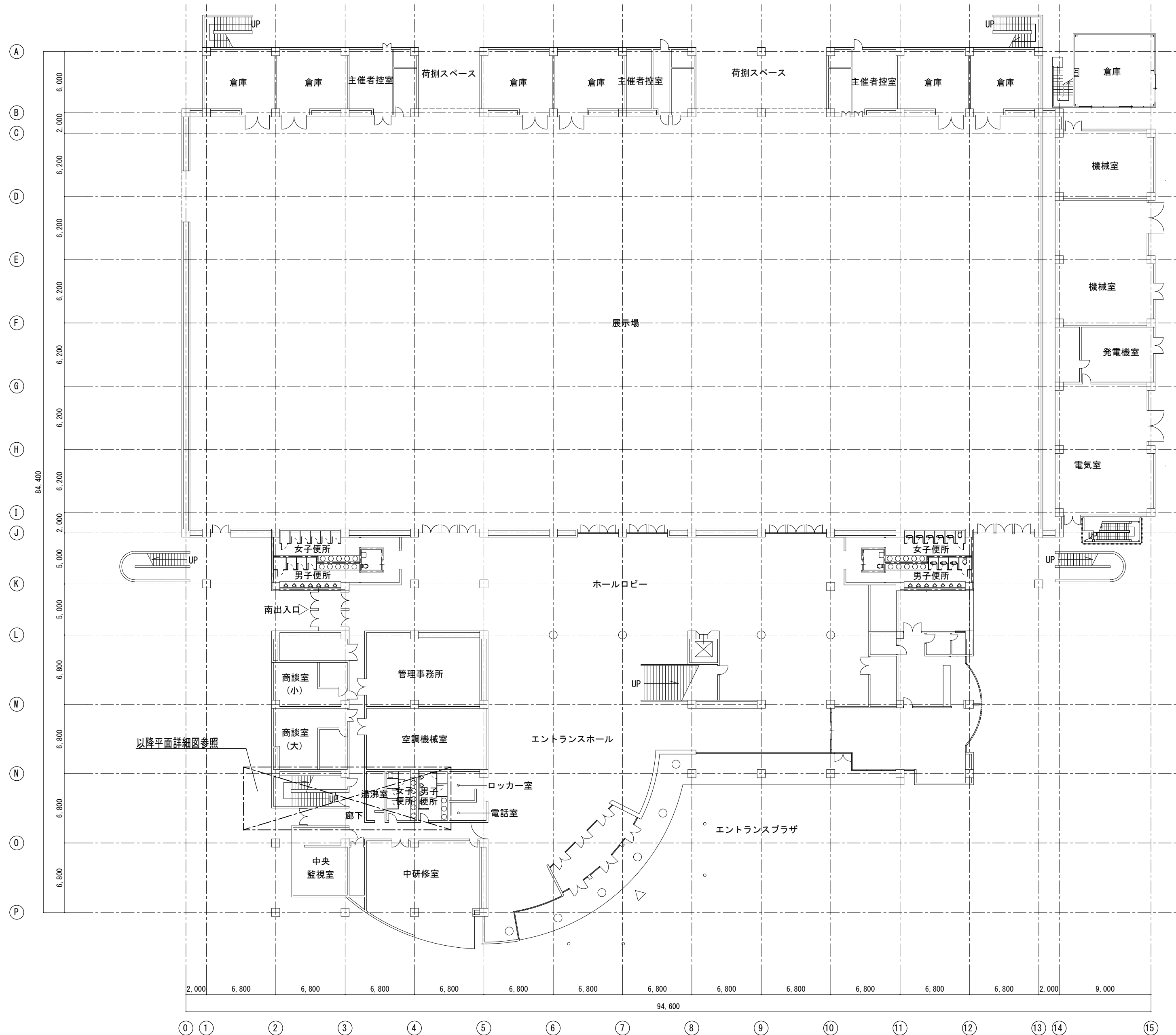
- ・当工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- ・また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、速やかに施工報告書(マニフェスト等の写しA・B2・D)を市監督員に提示すること。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。
- ・「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による。

【適用基準】

- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「建築、電気、機械設備工事監理指針 令和元年版」
- ・独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

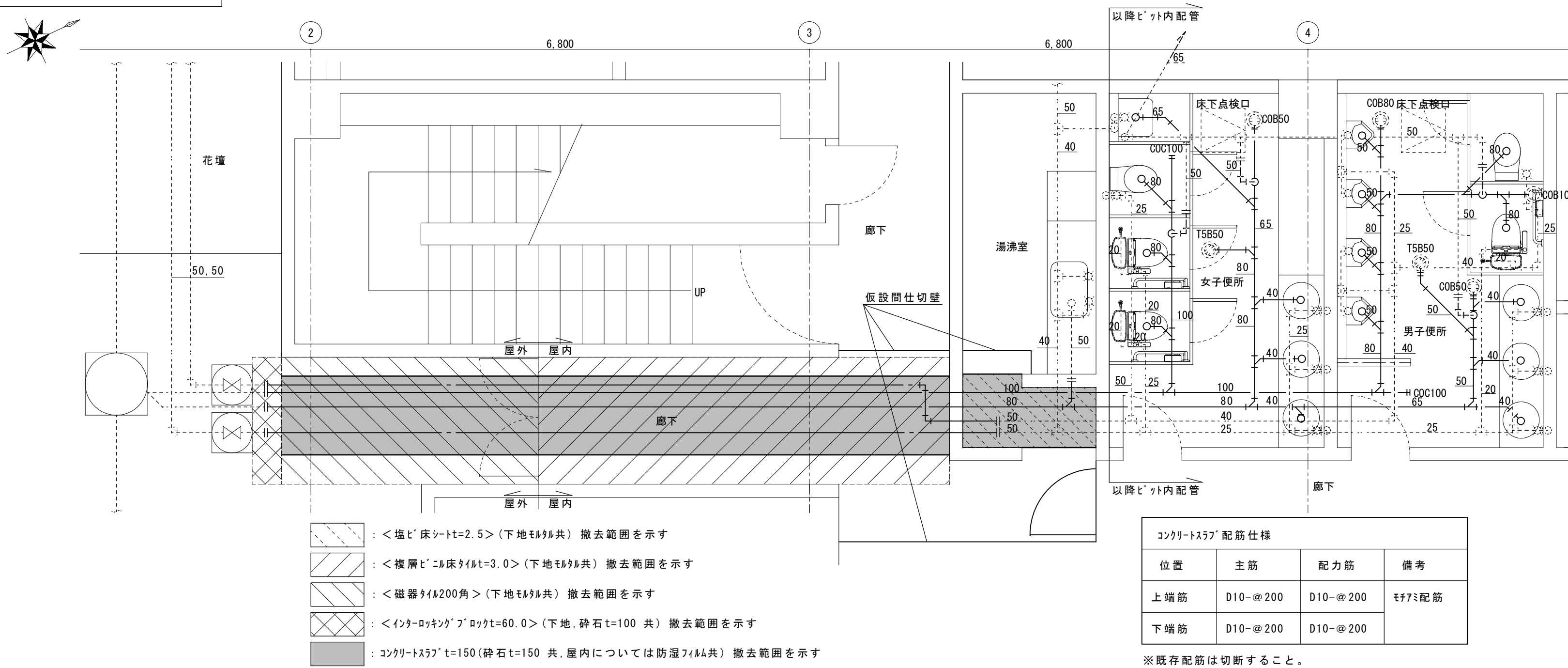
メッセウイング・みえ排水設備改修工事		縮尺 1/500
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A2
津市建設部営繕課		No. 1/3



1階平面図 S=1/300

メッセウイング・みえ排水設備改修工事		縮尺 1/300
図面名称	1階平面図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 2/3

1階平面詳細図（改修前） S=1/50



凡例

図示記号	名称	管種
—	撤去配管	
- - -	現状維持配管	
- - -	配管切断部分	
—	給水管	地中:H1VP
—	雑用水管	SGP(白)
—	汚水管	ホカ排水鉄管
- - -	通気管	SGP(白)
⊗	水栓金具	
⊙	排水金具	
⊕	床上掃除口	
∩	仮設間仕切壁(扉・南京錠共)	

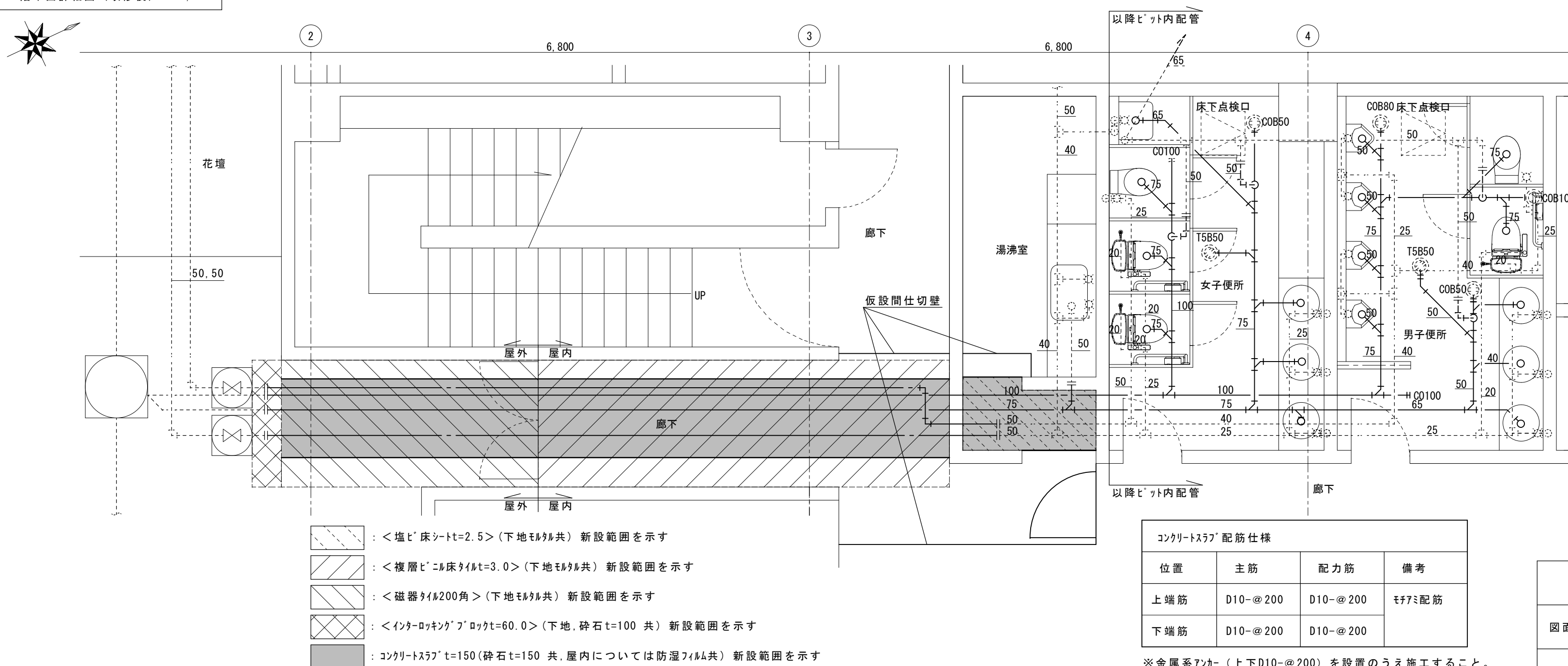
※器具に接続されている配管については、ピット内にて切断すること。
※配管撤去に伴い、吊りボルト、金具は撤去すること。

コンクリートスラブ配筋仕様

位置	主筋	配力筋	備考
上端筋	D10-@200	D10-@200	モチリ配筋
下端筋	D10-@200	D10-@200	

※既存配筋は切断すること。

1階平面詳細図（改修後） S=1/50



凡例

図示記号	名称	管種
—	新設配管	
- - -	現状維持配管	
- - -	現状配管・新設配管接続部分	
—	給水管	地中:H1VP
—	雑用水管	VP
—	汚水管	VP
- - -	通気管	VP, SGP(白)
⊗	水栓金具	
⊙	排水金具	
⊕	床上掃除口	
∩	仮設間仕切壁(扉・南京錠共)	

※梁貫通部の配管施工は原則として既設貫通穴を再利用すること。
※器具に接続されている配管については、ピット内にて接続すること。
※新設する吊りボルト、金具はSUS製とすること。

コンクリートスラブ配筋仕様

位置	主筋	配力筋	備考
上端筋	D10-@200	D10-@200	モチリ配筋
下端筋	D10-@200	D10-@200	

※金属系アンカー（上下D10-@200）を設置のうえ施工すること。

メッセウイング・みえ排水設備改修工事		縮尺	1/50
図面名称	1階平面詳細図	原因	A2
津市建設部 営繕課		No.	3/3